

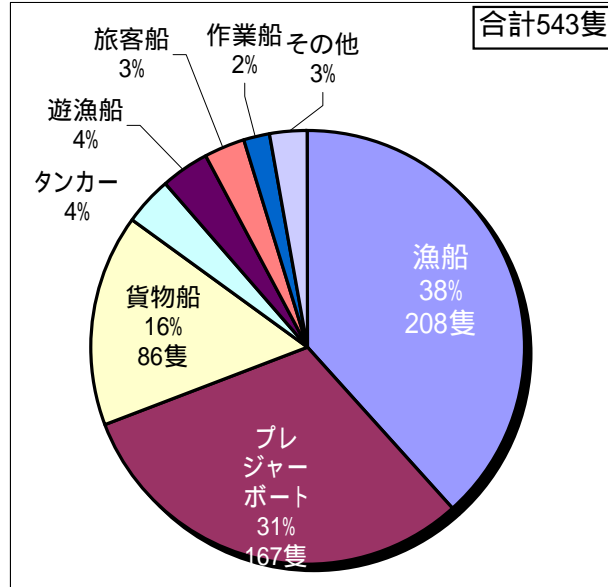
# 漁船海難月報 (速報)

平成十七年一月分

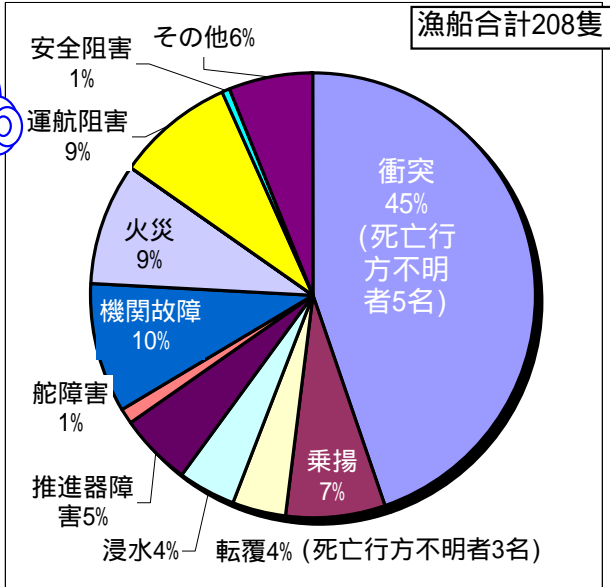
第七管区海上保安本部

平成十六年の船舶海難の発生状況をとりまとめました。増加しました。このうち漁船は二〇八隻と八隻減少したものの、海難全体に占める漁船の割合は、約三十八%となっております。不明となつており八名の漁業者の方が死亡・行方不明となつております。漁船海難の種類をみると、衝突が全体の約四十五%を占め、火災・運航阻害となつております。次に機

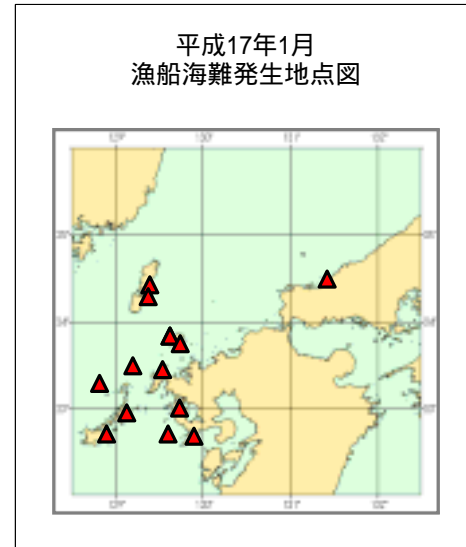
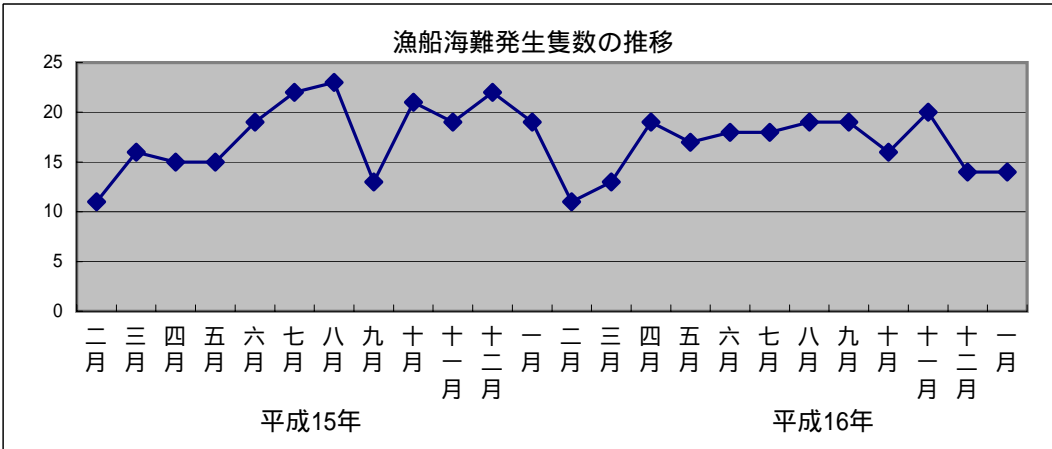
## 平成16年 船舶海難の用途別の割合



## 平成16年 漁船海難の種類別の割合



1月は、海難が発生していない海域もありますが、どこの海域であっても船の操船には十分注意し、ライフジャケットを着用して操業して下さいね！



運航阻害には、バッテリーの過放電や燃料欠乏などが含まれます。

平成17年1月 合計14隻	
種類別	隻数
衝突	3
乗揚	4
転覆	1
浸水	2
推進器障害	0
舵障害	1
機関故障	0
火災	0
爆発	1
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	0
その他	0
県別	隻数
山口県	1
福岡県	0
佐賀県	0
長崎県	13
大分県	0

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。